

# 経済学コース

専攻分野：関係法

## 租税法演習

田井 良夫 教授



税理士を目指す学生の租税法に関する修士論文作成を前提として、論文作成上の基礎的事項（テーマ選定準備、参考文献・論文・判例等の検索方法、引用の仕方、脚注・参考文献掲載要領、論文の構成など）を習得するとともに、論文のテーマ選定を念頭において、文献・論文・判例等を素材として、基本的かつ重要な事項について調査、研究、分析、検討の上、レポート作成・発表・討議を通じて、論理的思考能力・文章作成能力の向上を図り、修士論文の円滑な作成に資することを目的とする。

具体的には、法人税・所得税・相続税・消費税・国際租税などの税に関する今日的な課題や専門的な問題を相互に討議する方法で行うことにより、論理構成手法や文章作成能力を向上させる。なお、論文テーマの設定は、学生の自主的な選択による研究課題を重視しつつ、担当教員の税理士での実務経験や研究者としての視点などを踏まえて、研究指導を進めることとする。

これらにより、修士課程に相応しい専門分野における論理的思考能力・論文作成能力を修得し、論文テーマを早期に選定することにより、税理士試験の税法科目免除要件に合致した修士論文の作成を目標とする。